


## 2021年度第3回理事会議事録

・日 時	10月23日、午後14時45分～15時43分
・場 所	サンアビリティーズ城陽、並びに、オンライン形式
・出 席	石田直章、井岡雅子、森英二(オンライン)、徳永大作(オンライン) 委任出席 齊藤れい、理事5名全員出席、理事会成立 議題説明; 吉田進強化委員長、吉田寿子事務局長、吉田彫子事務員
・議 長	理事長、石田直章
・議事録確認者	井岡雅子
・議題	

- 1、東京パラリンピック報告、石田直章東京パラパラパワーチーム監督より、日本選手の成績等が発表された。
- 2、10月からの新役員就任報告が石田直章新理事長より発表された。  
理事長; 石田直章  
強化委員長; 吉田進(正会員)  
監査; 中元洋子
- 3、ガバナンスコード審査に向けて規程の整備、吉田寿子事務局長より下記の規程整備の背景説明がなされた。
  - ・連盟役員行動規範、満場一致で承認された。
  - ・競技者行動規範、満場一致で承認された。
  - ・コーチ規程、ヘッドコーチになるには、今後は、強化コーチの経験が4年必要であることが決まり、満場一致で承認された。森理事より、例えば海外の優秀コーチをヘッドコーチに招聘するなど例外がある場合もありうることを想定しておくことも大切、と、意見が出された。
  - ・審判規程、満場一致で承認された。
  - ・謝金規程、満場一致で承認された。
  - ・地方協会設立規程、岡本強化委員会普及振興分科会長より提出された規程案の説明が吉田寿子事務局長よりあり、満場一致で承認された。
- 4、JSCからH30年度事業を対象としたスポーツ振興事業助成金実態調査の調査結果に基づく改善方策について文書による回答依頼があった。議長は改善方策の作成及び実施状況について事務局の吉田彫子に説明を求めた。事務局の吉田彫子より、別紙「H30年度事業を対象としたスポーツ振興事業助成金実態調査の調査結果に基づく改善方策の提出について(回答)」が出席者に配布され、令和元年8月に改善方策を作成し、現在改善方策に従って改善に取り組んでいる旨が報告された。  
議長は当該改善方策につき議場に諮ったところ、満場一致で承認された。
- 5、2022年度全日本標準記録の設定について瀬尾技術委員長の試算を強化委員長から報告され、技術委員会提案通り、世界標準の95%を令和4年度から実行することが満場一致で承認された。
- 6、2022年度アジアオセアニア選考基準並びにアジアパラ選考基準について、強化委員長より各競技会の意義とそれに従った選考案が提示され、満場一致で承認された。
- 7、2022年度行事予定、今後地方協会が設立され、連盟行事と重ならない日程設定が必要であることを確認し、行事予定が満場一致で承認された。
- 8、全日本の開催要項、開催会場選定経緯が強化委員長より説明された。また、前日検量となった背景が説明され、全日本の要項が満場一致で承認された。
- 9、その他
  - ・大堂正会員より、万ドローピング検査で陽性者が出た場合、陽性に対する罰金は、選手個人負担とした方がよいのではないかと、提案があった。医師でもある徳永理事、森理事の意見を聞き、「陽性」が意図的であれ、うっかりドローピングであれ、陽性が出た場合の罰金は陽性者自身が支払うことが満場一致で承認された。また、徳永理事より、特に来年1月1日から関節内ステロイド剤の使用禁止等、最新のアンチドローピング教育が大切であることが提言され、これを実施していくことが満場一致で承認された。

以上、審議事項を終了したので、議長より閉会が宣言された。

書記; 吉田寿子 

議長 石田直章 

議事録確認者 井岡雅子 